

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院脳神経内科に通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学脳神経内科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認および学長の許可を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

神経疾患の病態における補体の関与

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学脳神経内科講座 准教授 宮本勝一

3. 研究の目的

補体は、ウイルスや細菌などの外敵から身を守る免疫システムで重要な働きをしていますが、補体がコントロールできないと病気になることが知られています。神経の病気では、重症筋無力症や視神経脊髄炎が知られていますが、詳細なメカニズムはわかっていません。この研究では、神経の病気と補体の関係を詳しく調べ、病気の重症度を正確に判断できる検査項目を見つけ出す事、そして、新しい治療薬を作ることを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

脳神経内科で、血液検査や脳脊髄液検査を受けた患者さん

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは診療カルテに記載されている情報（年齢、性別、疾患名、発症年齢、罹病期間、治療歴、身体機能、血液・髄液検査結果、画像検査結果）です。

(3) 方法

以前の血液検査や脳脊髄液検査の残りの検体を使って、補体と補体に関連する因子を測定します。また研究終了後、試料および情報は、匿名化され将来の研究に二次利用される可能性があります。その場合は改めて倫理審査委員会での審議を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

脳神経内科の講座費

8. 問い合わせ先

〒641-8510 和歌山市紀三井寺 811-1 和歌山県立医科大学脳神経内科講座医局

TEL・FAX: 043 - 441 - 0655

E-mail: shinnai@wakayama-med.ac.jp